

「復興フォーラム2018」



吉原 毅さん

3.11から7年

再生可能エネルギーがもたらす希望



棚橋 乾さん



江川美穂子さん



山川勇一郎さん



阿部裕行さん

3.11から7年。震災と福島第一原発事故により避難を余儀なくされた周辺住民の多くはいまだに故郷に帰れない状況が続いています。しかし、事故の教訓を消し去るかのよう、まるで事故がなかったかのように原発の再稼働が相次いでいます。

震災当時、城南信用金庫の理事長であった吉原 毅さんは、「原発に頼らない安心できる社会へ」という経営方針を掲げて、節電や太陽光の普及を主張されるなどの活動を開始されました。最近では、「原発ゼロ・自然エネルギー基本法案」を発表し、国会での議論を呼びかけています。

一方、多摩市内でも3.11以来原発に依存しない社会「脱原発社会」をめざし、環境に優しい再生可能エネルギーの普及と資源循環型社会の実現に積極的に取り組んでいる市民や企業があります。

また、多摩市内の小学校では、総合学習の時間で「エネルギー問題」に熱心に取り組んでいます。

ここでもう一度原点に立ち帰って「福島第一原発の教訓は何であり、それをどう活かしていったら良いか」を深く考える機会にしたいと思います。是非ご参加下さい！

基調講演：吉原 毅さん

(城南信用金庫 顧問)

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長)

パネラー：棚橋 乾さん (多摩市立連光寺小学校 校長)

江川美穂子さん (一般社団法人多摩循環型エネルギー協会 理事)

山川勇一郎さん (たまエンパワー株式会社 代表取締役)

阿部 裕行さん (多摩市長・脱原発をめざす首長会議 会員)

コーディネーター：平 清太郎 (桜ヶ丘商店会連合会 会長)



平清太郎

第一部：浪江・二本松と多摩をつなぐプレゼン ～浪江・二本松を訪問して学んだこと～
多摩第一小学校・多摩中学校 3月10日(土) 13時30分～14時 ヴィータホール 入場無料

日時：平成30年3月10日(土) 13時20分～16時半(開場13時)

場所：ヴィータホール(ヴィータコミュニエネ8階) 聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分

定員：250名(無料・申込み不要) ※お問い合わせ先：桜ヶ丘商店会連合会 ☎042-373-5869

主催：第37回せいせき桜まつり実行委員会 ○共催：関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会

☆後援：多摩市・多摩市教育委員会・多摩商工会議所・多摩市社会福祉協議会・多摩青年会議所他